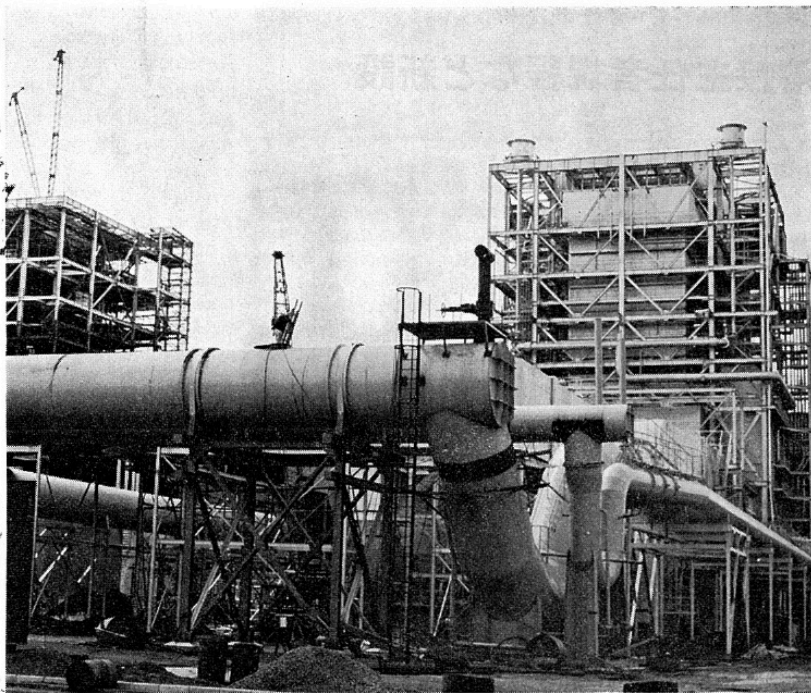


## 大分共同火力〔25万KW×2基〕 1号機タービン据付け工事が完了



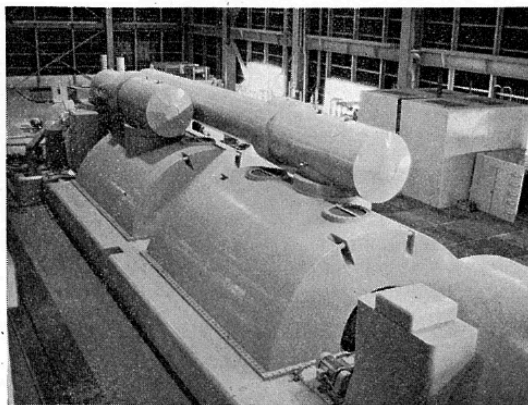
〔写真〕完了した大分共同火力1期(出力=25万KW)〔右〕 左は現在建設中の同2期(25万KW)

〔大分=10月19日〕当社は昨年4月上旬から、大分市大字原3号埋立地の大分共同火力(九州電力と新日本製鉄との折半出資)1号機(出力25万KW)のタービン部門建設工事を行ってきたが、すでにタービンガバナ―試験も終了、現在営業運転を待ただけとなっている。

大分共同火力は、大分臨海工業地帯3、4号地に建設中の新日本製鉄の動力源になるもので、当社は45年4月ごろから先行工事を開始、8月には本格的に工事を行なうため、大分共同火力作業所(徳光恒一所長)を設置していた。

この工事は日立プラントから受注したもので作業所設置後、給水ポンプ、復水ポンプ、給水加熱器、脱気器などの据付けが始まり、今年に入って1月26日には、自重260トンにのぼるスターターの吊り揚げ、2月下旬からはタービン本体の据付けが行なわれていた。5月11日にはタービン中間検査、6月28日から8月中旬にかけてはオイルフラッシングと順調に進み、9月3日にはボイラからの蒸気が入って通汽が行なわれた。

このあと、ガバナ―テストが9月11日から始まり、この日は4分の16日には4分の2、18日には4分の3、23日には全負荷とスムーズに進み、当社の1号機建設工事はすべて完了した。



〔写真〕当社が据付け工を行なったタービン発電機

### 急ピッチで進む2号機工事

一方、2号機(出力=25万KW)のタービン部門据付け工事についても日立プラントから受注、すでに機械関係では復水器上部胴の組立て、脱気器、各ヒーター類の据付け、モーター駆動の給水ポンプのグラウト補機関係のポンプ類の据付けなどが終了、現在、タービン駆動の給水ポンプの据付けや、来年3月15日予定のプラント水圧をめぐして、各配管関係の工事が進んでいる。

また、電気関係では、現在中央制御室のBTG盤、メタルクラッドの低圧ブスダクト、タービン本館の電灯照明工事などがさかに行なわれており、三菱重工から受注の計装工事のうち、ABCリレーラックの据付けも進められている。

なお、これからの工事予定としては、発電機のポールアップが12月1日の予定で、タービン本体の据付けは47年3月中旬ぐらいになりそう。

### 全国労働衛生週間 社長がメッセージ送る

#### 健康がすべての第一要件

10月1日から1週間、昭和46年度全国労働衛生週間が実施されたが、これに際し社長から従業員ならびに家族に対して、次のようなメッセージを送られた。

☆☆☆☆

本日から1週間にわたり、全国いっせいに「全国労働衛生週間」が設定され、各種の行事が実施されます。

この週間運動は昭和25年から始められ今年で第22回目を迎えました。年を追って活発に展開されています。

申すまでもなく、この週間は労働者の健康保持のため生活環境、職場環境をあらためて見なおさうというものであります。

ご存じのとおり、健康とは心身ともに良好な状態をいうものであります。健康こそ業務成績の向上を決定したり、人間の幸福を左右する第一要件であると思っております。

人間の能力は勤労のなかにおいて磨くことによってこそ、たくましく創造されていくものと思えます。これと同じようにわれわれ労働者の健康も、勤労生活のなかで向上させていかねばならないといえます。

近年、わが国の産業経済の発展は目ざましいものがあり、都市化工業化の急速な進展によって生活環境、社会環境は著しく変貌しております。

当社におきましては、このような環境の変化に対応して、みなさんの健康保持、衛生管理をさらに積極的に推進して、働きやすい職場環境をつくり出すよう努力いたしております。

しかしながら、自分の健康は自分がいちばん良く知っていなければならないものと思っております。みなさんは「自分の体は自分で守る」

を忘れず、日常生活における暴飲暴食、夜ふかしなどをつし、つねに快適な体調で仕事に取り組まれるよう心がけていただきたい。

それを実行されることがみなさんの幸せ、ご家族の幸せにも

つながるものであります。

当社の従業員の疾病傾向をみてみますと、胃腸障害がいばんで多く、ついで気管支炎、高血圧とつづいております。

われわれは、病気にからならないよう、日常の努力が必要であると思っております。

こんどの衛生週間スローガンは「健康は職場と家庭のあいことば」となっております。

明るい職場づくりも社業の発展も、すべてみなさんの積極的な協力なくしてはできません。どうかこの機会に「健康」であることの重要性を再認識されて、明るい快適な職場環境と、明るい家庭づくりに留意されるよう切望してやみません。



菅原社長

### ～ 昭電2期工事が終る ～

#### 作業所も10月15日に廃止

〔大分=10月19日〕当社は昨年9月4日に行なわれた発電設備の立柱以後、鉄骨建家の組立てを開始、11月27日にはドラム吊り揚げと本格的に工事に取り組んでいた昭和電工2期増設工事は、このほどそのすべてを終り、昨年8月に開設された昭和電工作業所も10月15日付けで廃止された。

当社は、大分市大字中ノ島2番地にある昭和電工大分化学コンビナートの2期増設工事のうち、380万/Hボイラ、出力3万5,000KWの蒸気タービンからなる発電プラント一式の据付け工事を日立プラントから受注、11月27日には重量73トンのドラム吊り揚げ工事、今年に入って2月24日にはボイラ水圧試験、5月10日には火入れ、5月31日には安全弁封鎖と進んでいた。一方タービン関係も

8月12日に中間検査が終了、9月16日には通汽と工事を消化、このあと9月27日からガバナ―テストが行なわれ、27日には4分の1、29日には4分の2、30日には4分の3と全負荷とすべてを終った。

10月4日から12日まではメタルの点検が行なわれ、すでに13日からは4分の3の負荷で確認運転が行なわれている。

これで当社の関係工事は全部終了15日付けで昭和電工作業所も廃止されて、仮設建物や工用電源などの撤去作業が進んでいる。

なお、この工事は電力会社の工事とくらべて工程が短かいうえ、作業場所が狭く、かなり作業がやりにくい面が多かったようだ。

また、同発電設備の官庁調査は、12月15日の予定。